

ときめき人

Tokimeki bito



教員、母、 挑戦者として。 国際大会優勝

米山町・中新田

岩渕 あゆみさん

いわぶち あゆみ
1989年生まれ

Profile

涌谷町出身で、小牛田農林高校、仙台大学に進学。高校時代はインターハイ2年連続出場や東北大会優勝を経験。現在は佐沼中学校で保健体育の教師とバスケット顧問を務める。夫も柔道経験者で3人の子どもの大の柔道好き。好きな食べ物は焼き肉、カキ、寿司。



大会の翌週には、生徒たちが寄せ書きを用意して優勝を祝ってくれた。

「表彰台に登れたのは、周囲の理解とたくさんの支えのおかげです。感謝してもしきれません」と、満面の笑みを浮かべる。6月20、21の両日、埼玉県上尾市内で開かれた「2026年日本ベテランズ国際柔道大会」で、女子個人の部と団体の部の両方で金メダルを獲得した。

柔道との出会いは小学6年生の時。見学したスポ少でその楽しさに目覚め、小・中・高・大学と柔道漬けの生活を送ってきた。柔道部顧問だった恩師への憧れから、大学卒業後は教員の道へと進み、柔道と関わりながら日々を過ごしてきた。

昨年の夏、米山中柔道部の顧問だった岩渕さんは、部員の全国大会出場に同行。指導者としての目標を一つかなえたと感じる一方で「自分も競技者

としてもう一度挑戦したい」という思いが胸中にこみ上げ、大会への出場を決意した。今大会に向け現役時代の体重まで戻す減量に挑戦。家族の食事作りや学校での給食指導もある中での減量はつらく、仕事の合間を縫っての練習も決して楽ではなかったが、家族や職場、生徒たちの応援もあり、諦めず乗り越えることができた。迎えた大会当日、徐々に味わう実戦の緊張感を楽しみながら、得意の内股を武器にトーナメントを勝ち進み、冷静な試合運びで見事2冠を達成することができた。

「こんな私でもできたので、『自分も何かやってみるか〜』と挑戦する人が増えたらうれしいです」と照れくさそうに笑う。岩渕さんが踏み出した一歩は、誰かの背中を押す道しるべとなるはずだ。

編集後記

▼全国大会等に出場した学生を取材しました。市内には、さまざまな分野で活躍する学生がたくさんいます。何かに夢中になると、真剣に取り組む姿を見ると、私もうれしくなります。夢や目標に向かう皆さんを、これからもみんなが応援していきたいです。(森田)

▼その便利さから、つい購入してしまうモバイルバッテリー。わが家でも昔買ったバッテリーの存在を思い出し、ふと引き出しから取り出すと、2倍ほどの厚みに膨張していました。もしこのまま気付かず発火していたら…。各総合支所での回収も始まりましたので、今一度、各ご家庭で確認を。(添田)

▼「広報担当者は流行に敏感であれ」とは言いますが、インフルエンザまで敏感にキャッチしてしまうとは想定外でした。数日間高熱にうなされ、ようやく外へ一歩出ると、そこにはすっかり秋の空気が広がっていました。皆さんは、何でもかんでも流行を先取りしないようご注意ください。(高橋)